



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社伸和ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 7118 URL https://shinwa-holdings.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 稔之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大野 誠 TEL 011 (624) 7871
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	6,699	5.1	200	△2.9	215	△14.0	136	△24.4
2025年3月期	6,376	8.6	206	9.7	250	20.0	180	29.0

(注) 包括利益 2026年3月期 136百万円 (△24.4%) 2025年3月期 180百万円 (29.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	99.56	98.12	17.8	9.9	3.0
2025年3月期	136.48	132.81	29.2	11.8	3.2

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(注) 2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2024年10月20日までは2023年1月26日付で上場した東京証券取引所TOKYO PRO Marketにおける平均株価を、2024年10月21日以降は同日付で上場した札幌証券取引所アンビシヤスにおける平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,185	809	37.0	587.35
2025年3月期	2,181	726	33.3	533.36

(参考) 自己資本 2026年3月期 809百万円 2025年3月期 726百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	217	△128	△81	976
2025年3月期	448	△90	△133	969

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	-	0.00	-	41.00	41.00	55	30.0	8.9
2026年3月期	-	0.00	-	37.00	37.00	50	37.2	6.6
2027年3月期(予想)	-	0.00	-	38.00	38.00		30.4	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,254	0.9	97	135.1	97	90.9	67	123.8	49.20
通期	6,808	1.6	256	27.8	255	18.8	172	26.0	124.88

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	1,378,200株	2025年3月期	1,362,100株
2026年3月期	-株	2025年3月期	-株
2026年3月期	1,372,433株	2025年3月期	1,324,311株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	6,694	5.1	183	△2.7	209	△14.1	132	△24.0
2025年3月期	6,371	8.6	188	8.4	243	19.2	174	28.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	96.39	94.99
2025年3月期	131.49	127.96

(注) 2025年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2024年10月20日までは2023年1月26日付で上場した東京証券取引所TOKYO PRO Marketにおける平均株価を、2024年10月21日以降は同日付で上場した札幌証券取引所アンビシャスにおける平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,145	789	36.8	572.59
2025年3月期	2,146	710	33.1	521.63

(参考) 自己資本 2026年3月期 789百万円 2025年3月期 710百万円

2. 2027年3月期の個別業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,253	0.9	96	103.4	66	141.4	48.52
通期	6,806	1.7	252	20.7	169	28.3	123.13

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更に関する注記)	11
(会計上の見積りの変更に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	15
(重要な後発事象の注記)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の全般的な業況感の改善及び雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しております。一方で、米国の通商政策の影響や中東情勢の緊迫化など地政学的リスクの高まりによるエネルギー価格の高騰や物流への影響から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する外食産業におきましては、価格改定によるお客様単価の上昇やインバウンド需要により業績が堅調に推移する一方で、原材料費や人件費などの高騰に加え、人手不足の影響もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループが運営する飲食事業、物販事業の店舗では、人流の活発化による食関連需要の高まり、宴会需要の増加及び新規メニューの積極的な投入により売上単価が上昇し、且つインバウンド需要の取り込みが順調に進んでおります。また、原価率及び人件費率の管理を適正に行いつつ、固定費の圧縮のための施策を継続的に講じるとともに、原材料価格の高騰を踏まえた自社工場における製造の効率化等、収益性の改善に向けた取り組みを推し進めてまいりました。

併せて、コーポレートスローガンである「食を通じてあふれる感動」に基づき、飲食事業及び物販事業における販売及び店舗展開の強化、人材の確保及び育成を引き続き積極的に進めるとともに、卸売事業の拡充にも注力してまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<飲食事業>

飲食事業におきましては、「居酒屋」業態が新たに2店舗出店した結果、当連結会計年度末における店舗数は43店舗となりました。新規の単品・宴会メニューの販促活動を積極的に行ったこと及び一部商品の値上げを行ったことにより一会計当たりのお客様単価が増加しました。他方、原価及び人件費が高騰したことにより、飲食事業における売上高は4,193,570千円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は511,102千円（同3.2%増）となりました。

<物販事業>

物販事業におきましては、「惣菜販売」業態が新たに3店舗出店し、1店舗退店した結果、当連結会計年度末における店舗数は58店舗となりました。まとめ買い需要の取り込みが順調に推移し、一部商品の値上げを行ったこと及び値引き販売の抑制により一会計当たりのお客様単価が増加しました。他方、原価及び人件費が高騰したことにより、物販事業における売上高は2,391,751千円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は208,531千円（同0.8%増）となりました。

<卸売事業>

卸売事業におきましては、新規取引先の開拓及び既存取引先からの追加受注等が計画を下回った一方、経費管理等を適切に行ったことにより、卸売事業における売上高は114,543千円（前年同期比23.2%減）、セグメント利益は28,675千円（同83.5%増）となりました。

これらの結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高6,699,865千円（前年同期比5.1%増）、営業利益200,934千円（同2.9%減）、経常利益215,381千円（同14.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益136,650千円（同24.4%減）となりました。なお、特別損失として、減損損失10,850千円を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は2,185,168千円となり、前連結会計年度末に比べ3,538千円増加いたしました。これは、流動資産が1,812千円減少し1,492,892千円となった一方で、固定資産が5,351千円増加し692,276千円となったことによるものであります。

これは主に、商品及び製品が38,999千円、繰延税金資産が18,169千円減少した一方で、売掛金が48,687千円、建物及び構築物が29,957千円、敷金及び保証金が17,686千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,375,675千円となり、前連結会計年度末に比べ79,454千円減少いたしました。これは、流動負債が75,450千円減少し827,047千円となったこと及び固定負債が4,004千円減少し548,628千円となったことによるものであります。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金が31,545千円、買掛金が28,495千円増加し、短期借入金が50,000千円、未払法人税等が35,639千円、未払金が17,924千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産額合計は809,492千円となり、前連結会計年度末に比べ82,993千円増加いたしました。これは、配当金の支払いにより利益剰余金が55,846千円減少した一方で、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,094千円増加したこと及び親会社株主に帰属する当期純利益136,650千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は3.7ポイント増加し、37.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ6,956千円増加し、976,712千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、217,138千円となりました(前連結会計年度は448,860千円の獲得)。これは主に、法人税等の支払額85,351千円、売上債権の増減額48,687千円があった一方、税金等調整前当期純利益204,531千円、減価償却費84,961千円、協賛金の受取額39,668千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、128,915千円となりました(前連結会計年度は90,472千円の使用)。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入743千円があった一方、有形固定資産の取得による支出106,087千円、敷金及び保証金の差入による支出23,604千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、81,267千円(前連結会計年度は133,475千円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入150,000千円があった一方、長期借入金の返済による支出117,475千円、配当金の支払額55,846千円等があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、堅調な企業業績を背景にした雇用・所得環境の改善等に支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移すると見込まれております。しかしながら、その一方で、不安定な国際情勢に起因した地政学リスクの高まり及び世界的なエネルギー価格・原材料価格の高騰に加え、為替相場の急激な変動によって経営に大きな影響を受けると考えられ、経済活動が停滞する恐れがあります。

このような状況において当社グループは、コーポレートスローガンである「食を通じてあふれる感動」に基づき、飲食事業、物販事業及び卸売事業の拡充に注力しつつ、人材の確保及び育成を計画的に進めてまいります。

2027年3月期の通期の連結業績予想につきましては、次のとおり見込んでおります。

売上高	6,808百万円
営業利益	256百万円
経常利益	255百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	172百万円

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していること等から、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえ、必要に応じて検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	969,756	976,712
売掛金	262,626	311,314
商品及び製品	162,279	123,279
原材料及び貯蔵品	14,567	23,209
その他	86,974	59,875
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	1,494,704	1,492,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	128,682	158,640
機械装置及び運搬具(純額)	112,287	96,761
工具、器具及び備品(純額)	67,445	63,588
土地	91,479	91,479
リース資産(純額)	14,974	5,906
建設仮勘定	-	2,354
有形固定資産合計	414,869	418,729
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
敷金及び保証金	175,851	193,538
繰延税金資産	81,731	63,562
その他	14,472	16,446
投資その他の資産合計	272,055	273,547
固定資産合計	686,925	692,276
資産合計	2,181,629	2,185,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	254,528	283,024
短期借入金	100,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	87,955	119,500
リース債務	10,135	5,553
未払金	250,343	232,419
未払費用	44,443	44,848
未払法人税等	45,341	9,701
賞与引当金	9,216	5,723
株主優待引当金	26,300	14,606
資産除去債務	-	555
その他	74,234	61,114
流動負債合計	902,498	827,047
固定負債		
長期借入金	457,944	458,924
リース債務	6,574	1,020
資産除去債務	88,113	88,683
固定負債合計	552,632	548,628
負債合計	1,455,130	1,375,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,784	52,879
資本剰余金	38,784	39,879
利益剰余金	635,929	716,734
株主資本合計	726,499	809,492
純資産合計	726,499	809,492
負債純資産合計	2,181,629	2,185,168

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	6,376,865	6,699,865
売上原価	2,432,762	2,542,566
売上総利益	3,944,103	4,157,299
販売費及び一般管理費	3,737,109	3,956,364
営業利益	206,994	200,934
営業外収益		
受取利息及び配当金	511	2,107
受取保険金	3,357	11,681
補助金収入	4,291	-
受取返戻金	1,896	1,200
受取和解金	27,265	-
協賛金収入	30,228	9,157
その他	1,369	2,672
営業外収益合計	68,918	26,819
営業外費用		
支払利息	5,993	7,224
現金過不足	6,293	3,585
上場関連費用	9,613	-
その他	3,499	1,562
営業外費用合計	25,400	12,371
経常利益	250,512	215,381
特別利益		
固定資産売却益	4,599	-
特別利益合計	4,599	-
特別損失		
減損損失	18,247	10,850
特別損失合計	18,247	10,850
税金等調整前当期純利益	236,864	204,531
法人税、住民税及び事業税	74,506	49,711
法人税等調整額	△18,390	18,169
法人税等合計	56,116	67,880
当期純利益	180,748	136,650
親会社株主に帰属する当期純利益	180,748	136,650

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	180,748	136,650
包括利益	180,748	136,650
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	180,748	136,650

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	13,000	-	498,081	511,081	511,081
当期変動額					
新株の発行	37,950	37,950		75,900	75,900
新株の発行(新株予約権の行使)	834	834		1,669	1,669
剰余金の配当			△42,900	△42,900	△42,900
親会社株主に帰属する当期純利益			180,748	180,748	180,748
当期変動額合計	38,784	38,784	137,848	215,417	215,417
当期末残高	51,784	38,784	635,929	726,499	726,499

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	51,784	38,784	635,929	726,499	726,499
当期変動額					
新株の発行					
新株の発行(新株予約権の行使)	1,094	1,094		2,188	2,188
剰余金の配当			△55,846	△55,846	△55,846
親会社株主に帰属する当期純利益			136,650	136,650	136,650
当期変動額合計	1,094	1,094	80,804	82,993	82,993
当期末残高	52,879	39,879	716,734	809,492	809,492

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	236,864	204,531
減価償却費	84,815	84,961
減損損失	18,247	10,850
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,422	△3,493
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	26,300	△11,693
受取利息及び受取配当金	△511	△2,107
支払利息	5,993	7,224
固定資産売却益	△4,599	-
売上債権の増減額 (△は増加)	20,921	△48,687
棚卸資産の増減額 (△は増加)	99,697	30,357
仕入債務の増減額 (△は減少)	45,358	28,495
未払又は未収消費税等の増減額	△19,172	△5,079
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	7,536	△19,142
受取保険金	△3,357	△11,681
補助金収入	△4,291	-
協賛金収入	△30,228	△9,157
受取返戻金	△1,896	△1,200
受取和解金	△27,265	-
上場関連費用	9,613	-
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3,997	11,473
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△429	△679
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△6,026	△8,746
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△901	△1,165
その他	453	0
小計	459,698	255,059
利息及び配当金の受取額	511	2,107
利息の支払額	△6,154	△7,226
保険金の受取額	3,357	11,681
協賛金の受取額	39,570	39,668
受取返戻金の受取額	1,896	1,200
和解金の受取額	27,265	-
法人税等の支払額	△77,285	△85,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	448,860	217,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△94,828	△106,087
有形固定資産の売却による収入	4,600	-
敷金及び保証金の差入による支出	△6,346	△23,604
敷金及び保証金の回収による収入	1,619	743
資産除去債務の履行による支出	△108	△678
補助金の受取額	4,291	-
その他	300	711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,472	△128,915
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△50,000
長期借入れによる収入	-	150,000
長期借入金の返済による支出	△146,729	△117,475
リース債務の返済による支出	△11,802	△10,135
配当金の支払額	△42,900	△55,846
株式の発行による収入	75,900	-
上場関連費用の支出	△9,613	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,669	2,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,475	△81,267
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	224,912	6,956
現金及び現金同等物の期首残高	744,844	969,756
現金及び現金同等物の期末残高	969,756	976,712

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、「飲食事業」、「物販事業」及び「卸売事業」の3つの事業セグメントで構成されております。各事業は、事業を展開する経済、競争及び規制環境に特化したサービスに重点をおいた戦略が必要なため、個別に管理されております。

「飲食事業」は、北海道及び首都圏において食材と美味しさにこだわった居酒屋を中心とした飲食店の経営を行っております。

「物販事業」は、北海道、東北エリア及び首都圏において安心・安全な食材を使用したお惣菜のお持ち帰り専門店等を経営しております。

「卸売事業」は、冷凍加工食品の企画・製造・卸売販売を行っております。商品の特徴としては、大手食品メーカーと共同開発を行い、メーカーの代表的な商品にアレンジを加えたオリジナル商品を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	飲食事業	物販事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,030,924	2,196,822	149,118	6,376,865	-	6,376,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,030,924	2,196,822	149,118	6,376,865	-	6,376,865
セグメント利益	495,406	206,893	15,629	717,929	△510,935	206,994
セグメント資産	433,993	364,541	38,679	837,213	1,344,416	2,181,629
その他の項目						
減価償却費	47,307	31,129	-	78,437	6,378	84,815
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	34,015	52,148	-	86,164	5,528	91,692

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△510,935千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額1,344,416千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

(3)減価償却費の調整額6,378千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5,528千円は、管理部門の資産に係る増加額であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	飲食事業	物販事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,193,570	2,391,751	114,543	6,699,865	-	6,699,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	4,193,570	2,391,751	114,543	6,699,865	-	6,699,865
セグメント利益	511,102	208,531	28,675	748,309	△547,375	200,934
セグメント資産	437,635	353,469	64,465	855,570	1,329,597	2,185,168
その他の項目						
減価償却費	44,230	32,194	-	76,425	8,535	84,961
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	55,484	36,813	-	92,297	7,373	99,671

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△547,375千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2)セグメント資産の調整額1,329,597千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
 - (3)減価償却費の調整額8,535千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。
 - (4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額7,373千円は、管理部門の資産に係る増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	飲食事業	物販事業	卸売事業	全社・消去	合計
減損損失	15,133	3,114	-	-	18,247

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	飲食事業	物販事業	卸売事業	全社・消去	合計
減損損失	7,163	3,686	-	-	10,850

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報に関する注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	533.36円	587.35円
1株当たり当期純利益	136.48円	99.56円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	132.81円	98.12円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、2024年10月20日までは2023年1月26日付で上場した東京証券取引所 TOKYO PRO Marketにおける平均株価を、2024年10月21日以降は同日付で上場した札幌証券取引所アンビシャスにおける平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	180,748	136,650
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(千円)	180,748	136,650
普通株式の期中平均株式数(株)	1,324,311	1,372,433
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	36,607	20,173
(うち新株予約権(株))	(36,607)	(20,173)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。